

# 11 絶滅の危機にあるいきもの

## 【国：環境省レッドリストの区分(抜粋)】

- 絶滅危惧Ⅰ類 絶滅の危機に瀕している種  
 絶滅危惧ⅠA類 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種  
 絶滅危惧ⅠB類 ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種  
 絶滅危惧Ⅱ類 絶滅の危険が増大している種  
 準絶滅危惧 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

## 【東京都：レッドリストの区分(抜粋)】

- 絶滅危惧Ⅰ類 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの  
 絶滅危惧ⅠA類 ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの  
 絶滅危惧ⅠB類 ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの  
 絶滅危惧Ⅱ類 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの  
 準絶滅危惧 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

## 【目黒区いきもの住民台帳(暫定版)にある主な絶滅危惧種】

### 植物(自生)

- アブノメ(シソ目ゴマノハグサ科) 東京都：区部[絶滅危惧ⅠB類]  
 ○マヤラン(ラン目ラン科) 国：[絶滅危惧Ⅱ類]

### きのこ

- ツチグリ(ホコリタケ目ホコリタケ科) 国：[絶滅危惧ⅠB類]

### クモ

- キシノウエトタテグモ(クモ目トタテグモ科)  
 国：[準絶滅危惧] 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○コガネグモ(クモ目コガネグモ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○コアシダカグモ(クモ目アシダカグモ科)  
 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]

### 昆虫

- ホソミオツネトンボ(トンボ目アオイトトンボ科)  
 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○オニヤンマ(トンボ目オニヤンマ科) 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○リスアカネ(トンボ目トンボ科) 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○ショウリョウバッタモドキ(バッタ目バッタ科)  
 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○ヒグラシ(カメムシ目セミ科) 東京都：区部[準絶滅危惧]

- キマダラカミキリ(コウチュウ目カミキリムシ科)  
 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○タケトラカミキリ(コウチュウ目カミキリムシ科)  
 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○ウスバカミキリ(コウチュウ目カミキリムシ科)  
 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○オオミズアオ(チョウ目ヤママユガ科)  
 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
**魚類**  
 ○ウナギ(ウナギ目ウナギ科)  
 国：[情報不足] 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○ビリンゴ(スズキ目ハゼ科) 東京都：区部[準絶滅危惧]  
**両生類(カエルなどのなかま)**  
 ○ヒキガエル(カエル目ヒキガエル科) 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○アマガエル(カエル目アマガエル科)  
 東京都：区部[絶滅危惧ⅠB類]  
**爬虫類(カメやトカゲ、ヘビのなかま)**  
 ○イシガメ(カメ目イシガメ科)  
 国：[情報不足] 東京都：区部[絶滅危惧ⅠA類]  
 ○ヤモリ(トカゲ目ヤモリ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○トカゲ(トカゲ目トカゲ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅰ類]  
 ○カナヘビ(トカゲ目カナヘビ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○アオダイショウ(トカゲ目ナミヘビ科)  
 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○ヒバカリ(トカゲ目ナミヘビ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
**鳥類**  
 ○カイツブリ(カイツブリ目カイツブリ科)  
 東京都：区部[準絶滅危惧]  
 ○ダイサギ(コウノトリ目サギ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○コサギ(コウノトリ目サギ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○コアジサシ(チドリ目カモメ科)  
 国：[絶滅危惧Ⅱ類] 東京都：区部[絶滅危惧ⅠB類]  
 ○ツミ(タカ目タカ科) 東京都：区部[絶滅危惧ⅠA類]  
 ○オオタカ(タカ目タカ科)  
 国：[準絶滅危惧] 東京都：区部[絶滅危惧ⅠA類]  
 ○ハイタカ(タカ目タカ科)  
 国：[準絶滅危惧] 東京都：区部[絶滅危惧ⅠB類]  
 ○ハヤブサ(タカ目ハヤブサ科)  
 国：[絶滅危惧Ⅱ類] 東京都：区部[絶滅危惧ⅠB類]  
 ○チョウゲンボウ(タカ目ハヤブサ科)  
 東京都：区部[絶滅危惧ⅠB類]  
 ○カワセミ(ブッポウソウ目カワセミ科)  
 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○モズ(スズメ目モズ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]  
 ○ヤマガラ(スズメ目シジュウカラ科) 東京都：区部[絶滅危惧Ⅱ類]

### 《レッドリストを調べる》

- ・東京都＝東京都環境局ホームページ  
 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都のレッドリスト2010年版(東京都環境局公開)
- ・日本＝環境省生物多様性センターホームページ  
 2007年第二次見直し後のレッドリスト(環境省公開)

## ○観察記録資料 (資料番号-資料名)

(目黒区発行物)

- 01-01 街の自然 12 か月=目黒区の動植物ガイド(1983)
- 01-02 目黒区産動植物目録(1984)
- 01-03 緑の実態調査書(1993)
- 01-04 公園の育児書 駒場野自然クラブ観察記録(1987)
- 01-05 あの日 この顔(1982)
- 01-06 昭和の戦争記録(1991:目黒区編集\_岩波書店)
- 01-07 戦後の庶民生活(1995)
- 01-08 目黒区史(1956:東京都立大学学術研究会編集)
- 01-09 東京都目黒区東山遺跡(I・M・N・O 地点)(1999:目黒区東山遺跡調査団)
- 01-10 野鳥生息調査報告書(1986)
- 01-11 グラフめぐろ(目黒区広報課発行)
- 01-12 ひとと木のうた(めぐろ区樹木ガイド)(1993)
- 01-14 駒場野公園 20 周年記念誌  
=みんなと育った 20 年(2005)
- 01-15 月刊花とみどりの学習館だより(みどりと公園課)
- 01-16 月刊駒場野自然クラブニュース(みどりと公園課)
- 01-17 区民による身近な生物調査解析結果報告書 (2010)

(生物全般資料)

- 02-01 めぐろの森(1975:農林省林業試験場)及び同試験場技官阿部 学氏の記録
- 02-02 郷土隨筆 目黒界限(1961:富岡 丘蔵著\_梢書房)
- 02-03 郷土目黒(年刊:目黒区郷土研究会)
- 02-04 月刊目黒区郷土研究(目黒区郷土研究会)
- 02-05 目黒区自然環境基礎調査(ビオトープ環境回復調査)(2000:目黒区)
- 02-06 中小河川環境実態調査報告書(目黒川・古川・呑川)(1996:東京都)
- 02-07 環境影響評価書-サッポロビール恵比寿工場跡地再開発事業-資料編(1990:サッポロビール株式会社)
- 02-08 当社周辺の緑地の生物調査報告書(2011:東急建設株式会社総本部環境技術部)

(動物全般資料)

- 03-01 東京都目黒清掃工場建設事業-環境影響評価書の概要(1985:東京都)
- 03-02 高度処理水放流河川生物相変化実態報告書(1997:東京都)
- 03-03 目黒区自然環境基礎調査(土壌生物写真調査)(2000:目黒区)
- 03-04 東京都目黒清掃工場建設事業-事後調査報告書(1996:東京都)

(野鳥資料)

- 04-01 月刊東京支部報(財:日本野鳥の会\_東京支部)
- 04-02 東京都産鳥類目録(1974:東京都)
- 04-03 駒場野公園野鳥定点観察記録(1986~:麻生 敬氏\_駒場野自然クラブ)
- 04-04 目黒区自然環境基礎調査(特定緑地における定点鳥相調査結果)(2000:目黒区)

(昆虫類資料)

- 05-01 駒場の蝶(1950:片岡 尤二氏\_街の自然 12 か月=1983:目黒区に収録)
- 05-02 世田谷の蝶(1981:福田 晴男著)
- 05-03 昆虫放談(1978:小山内 龍著\_築地書館)
- 05-04 月刊むし(月刊むし社発行)
- 05-05 Bee Books 東京の蝶(1997:関 洋著\_光村印刷)
- 05-06 月刊蝶研フィールド(蝶研出版発行)
- 05-07 日本原色カイガラムシ図鑑(1980:河合省三著\_全国農村教育協会)

(クモ類資料)

- 06-01 駒場野公園クモ観察リスト(1990~:麻生 敬氏\_駒場野自然クラブ)
- (植物全般資料)
- 07-01 目黒区の公共空間の植物(1999年:渡辺 紀子氏\_目黒区自然環境基礎調査)
  - 07-02 目黒区の野草・在来種(2009年:渡辺 紀子氏\_駒場野公園野の花くらぶ)
- (菌類資料)
- 08-01 公園で観察できるキノコについて(Jul/1999:都市公園No.145\_大館 一夫著:財団法人東京都公園協会)
- (その他)
- 09-01 淡水性プランクトンの季節変化(1987年研究報告書に収録:目黒区立第三・十中学校生徒\_目黒区生徒科学教室)
  - 09-02 目黒区自然環境基礎調査(水生微生物調査)(2000:目黒区)

## ○参考図書

(分類)

- 植物の多様性と系統(1997:加藤 雅啓編\_裳華房)  
 節足動物の多様性と系統(2008:石川 良輔編\_裳華房)  
 脊椎動物の多様性と系統(2006:松井 正文編\_裳華房)  
 岩波生物学辞典第4版(1998:八杉 龍一ほか編\_岩波書店)  
 動物系統分類の基礎(1997:内田 亨著\_北隆館)  
 植物系統分類の基礎(1997:山岸 高旺編\_北隆館)  
 日本動物大百科(1998:日高 敏隆監修\_平凡社)  
 (植物)  
 日本植物誌 顕花篇(1975 大井 次三郎\_至文堂)  
 日本の樹木(1985:林 弥栄編\_山と溪谷社)  
 日本の野草(1983:林 弥栄編\_山と溪谷社)  
 日本の野生植物 草本 I・II・III(1982:佐竹 義輔・大井 次三郎・北村 四郎・亘理 俊二・富成 忠夫\_平凡社)  
 日本の野生植物 木本 I・II(1989:佐竹 義輔・原 寛・亘理 俊次・富成 忠夫編\_平凡社)  
 ひとと木のうた-めぐろの樹木ガイド(1993:荻住 昂監修\_目黒区)  
 (菌類)  
 日本のきのこ(1992:今関 六也ほか編\_山と溪谷社)  
 都会のキノコ(2004:大館 一夫著\_八坂書房)  
 都会のキノコ図鑑(2007:大館 一夫、長谷川 明監修\_八坂書房)  
 (昆虫・クモ)  
 日本トンボ大図鑑(1985:浜田 康ほか著\_講談社)  
 日本のクモ(2006:新海 栄一著\_文一総合出版)  
 (動物)  
 日本の哺乳類(1994:阿部 永ほか著\_東海大学出版会)  
 (レッドリスト)  
 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都のレッドリスト~2010 年版(2010:東京都環境局)

## ○昆虫の分類、学名、和名

- 1、チョウ類:日本産蝶類和名学名便覧  
<http://binran.lepimages.jp>
- 2、ガ類:神保宇嗣,2004-2008. 日本産蛾類総目録  
<http://listmj.mothprog.com/>
- 3、その他:九州大学日本産昆虫目録データベース(MOKUROKU)  
<http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/mokuroku/index.html#update>

# 13 \* いきものマップ・さくいん



## あ

アオオビハエトリ《クモ》	62
アオジ《鳥類》	80
アオスジアゲハ《昆虫》	66
アオダイショウ《爬虫類》	86
アオバズク《鳥類》	75
アカスジキンカメムシ《昆虫》	65
アカハラ《鳥類》	78
アカマツ《植物》	51
アキアカネ《昆虫》	71
アゲハ《昆虫》	65
アケビコノハ《昆虫》	69
アジサイ《植物》	53
アブラコウモリ《哺乳類》	86
アブラゼミ《昆虫》	65
アマガエル《両生類》	84
アミガサダケ《キノコ》	59
アユ《魚類》	84
イオウイロハシリグモ《クモ》	62
イソギ《鳥類》	74
イチョウ《植物》	51
イロハモミジ《植物》	54
ウグイス《鳥類》	77
ウスバカミキリ《昆虫》	64
エゾビタキ《鳥類》	77
エノキ《植物》	52
オオスカシバ《昆虫》	69
オオミズアオ《昆虫》	69
オオルリ《鳥類》	77
オサムシタケ《キノコ》	59
オナガ《鳥類》	82
オナガガモ《鳥類》	73
オニヤンマ《昆虫》	70
オンブバッタ《昆虫》	71

## か

カキ《植物》	54
カケス《鳥類》	82
カナヘビ《爬虫類》	85
カブトムシ《昆虫》	64
カルガモ《鳥類》	73
カワセミ《鳥類》	75
カワラヒワ《鳥類》	80
カントウタンポポ《植物》	57
キイトンボ《昆虫》	69
キシノウエトタテグモ《クモ》	61
キジバト《鳥類》	74
キタテハ《昆虫》	67

クサガメ《爬虫類》	85
クス《植物》	53
クヌギ《植物》	51
クロアゲハ《昆虫》	66
クロスジギンヤンマ《昆虫》	70
ケヤキ《植物》	53
コアシダカグモ《クモ》	62
コガネグモ《クモ》	61
コクワガタ《昆虫》	64
コゲラ《鳥類》	75
コナラ《植物》	52
ゴマダラチョウ《昆虫》	68
コムスジ《昆虫》	67
コムクドリ《鳥類》	81

## さ

サトキマダラヒカゲ《昆虫》	68
サトザクラ(品種の総称)《植物》	53
サンコウチョウ《鳥類》	78
サンショウクイ《鳥類》	76
シオカラトンボ《昆虫》	70
シジュウカラ《鳥類》	79
シメ《鳥類》	81
ジョウビタキ《鳥類》	78
ショウリョウバッタモドキ《昆虫》	71
ジョロウグモ《クモ》	61
シラカシ《植物》	52
ススキ《植物》	57
スズメ《鳥類》	81
スダジイ《植物》	51
センダイムシクイ《鳥類》	78

## た

ダイサギ《鳥類》	73
タチツボスミレ《植物》	57
タヌキ《哺乳類》	86
チョウゲンボウ《鳥類》	74
ツグミ《鳥類》	79
ツチグリ《キノコ》	59
ツバメ《鳥類》	76
ツマキチョウ《昆虫》	66
ツルタケ《キノコ》	59
トカゲ(ニホントカゲ)《爬虫類》	85
トノサマバッタ《昆虫》	71
トラツグミ《鳥類》	79

## な

ナガコガネグモ《クモ》	61
ナガサキアゲハ《昆虫》	66
ナガミヒナゲシ《植物》	56
ナズナ《植物》	56
ナナホシホシテントウ《昆虫》	64
ニッポンオチバカニグモ《クモ》	62

## は

ハイタカ《鳥類》	73
ハクセキレイ《鳥類》	76
ハクビシン《哺乳類》	86
ハシブトガラス《鳥類》	82
ハシボソガラス《鳥類》	82
ヒキガエル《両生類》	84
ヒグラシ《昆虫》	65
ヒメウズ《植物》	56
ヒメジャノメ《昆虫》	68
ヒヨドリ《鳥類》	76
ホタルブクロ《植物》	57

## ま

マヒワ《鳥類》	80
ミズイロオナガシジミ《昆虫》	67
ミズキ《植物》	54
ミヤギノハギ《植物》	54
ムクドリ《鳥類》	81
ムクノキ《植物》	52
ムラサキケマン《植物》	56
メジロ《鳥類》	80
メダカ《魚類》	84
モズ《鳥類》	77
モノサシトンボ《昆虫》	70
モンシロチョウ《昆虫》	67

## や・ら・わ

ヤマガラ《鳥類》	79
ヤモリ《爬虫類》	85
ユリカモメ《鳥類》	74
ルリタテハ《昆虫》	68
ワカケホンセイインコ《鳥類》	75



# 14 さくいん(いきもの探し)

【どこにいるかな?】

『自然通信員季節のスケッチ』の中  
や他のページに絵や写真があるいきものです。  
みなさんも、探してみましよう



もず — 32  
やまがら ヤマガラ — 41, 72

## 鳥(とり)

あ・か

いんこ ワカケホンセイインコ — 37  
う カワウ — 32, 40, 41  
うぐいす ウグイス — 36, 37, 45  
おなが オナガ — 12, 21, 44  
かも オナガガモ・キンクロハジロなど — 41  
カルガモ — 24, 25, 33, 41  
かもめ セグロカモメ・ユリカモメ — 40  
からす ハシブトガラス — 29, 41, 47  
かるがも カルガモ→かも  
かわせみ カワセミ — 41, 45, 72  
かわらひわ カワラヒワ — 21, 41  
きつつき アオゲラ・コゲラ — 24, 29, 41, 44, 72

さ・た

さぎ アオサギ・ゴイサギ — 25, 28, 32, 37, 40  
コサギ — 33, 40, 45, 47  
しじゅうから 区の鳥 しじゅうから (シジュウカラ)  
— 20, 21, 25, 36, 41, 44, 47  
じょうびたき ジョウビタキ — 40  
しらすぎ 全身の羽が白いサギ コサギなど→さぎ  
すずめ スズメ — 36, 47  
せきれい キセキレイ・ハクセキレイ — 25, 40, 45  
たか・はやぶさ オオタカ・トビ・ハヤブサ — 41  
サシバ — 33  
つぐみ ツグミ・アカハラなど — 40, 44, 45  
つばめ ツバメ — 20, 21, 24, 25, 45  
とび(とんび) トビ — 41

は・ま・や

はと キジバト — 20, 21, 36, 44, 47  
ひよどり ヒヨドリ — 21, 33, 37  
ふくろう・みみずく アオバズク — 29

## 動物(どうぶつ)

えび スジエビ・テナガエビ — 41  
かえる ヒキガエル(がま) — 29, 44, 83  
かに モクズガニ — 40  
かめ ミシシッピーアカミミガメ — 15  
くも ジョロウグモ — 36, 60  
こうもり アブラコウモリ — 29  
さかな ボラ・メダカ・モツゴ(くちぼそ) — 24, 41  
たぬき タヌキ — 28, 83  
とかげ カナヘビ・トカゲ — 33・83  
はくびしん ハクビシン — 15, 25, 37  
へび アオダイショウ — 28  
やもり ヤモリ — 29



## 虫(むし)

あ

赤とんぼ アキアカネなどのなかま→とんぼ  
あげはちょう クロアゲハ・ナガサキアゲハ — 14, 20  
あめんぼ アメンボ — 24  
いなご コバネイナゴ — 表紙2

か

が アケビコノハ・オオミズアオなど 29, 47, 93  
→こがねむし  
かなぶん カネタタキ — 37  
かねたたき カブトムシ — 29  
かまきり カマキリ — 32  
かまどうま カマドウマ — 20  
かみきりむし ゴマダラカミキリ — 29  
くわがた コクワガタほか — 28, 29, 45, 47, 63  
こおろぎ エンマコオロギなど — 32, 33  
こがねむし カナブン・センチコガネ — 29・33

さ・た・な

しおからとんぼ	→とんぼ
しじみちょう	ベニシジミ・ヤマトシジミなど 32, 33, 63
せせりちょう	イチモンジセセリなど 14, 33
せみ	アブラゼミ・ミンミンゼミなど 28, 29
たてはちょう	ヒメアカタテハ 33
とんぼ	アキアカネ・コシアキトンボ・シオカラ トンボ・ショウジョウトンボ・ホソミ オツネントンボ・モノサシトンボ —24, 25, 32, 45
てんとうむし	ナナホシテントウ 44
ななふし	ナナフシモドキ 28

は・ま・や

ばった	オンブバッタ・ショウリヨウバッタ・ ショウリヨウバッタモドキ・トノサマ バッタ・ヒシバッタ 表紙 2, 32
ほたる	ヘイケボタル 25
まだらちょう	アサギマダラ 36
もんきちょう	キチョウ・モンキチョウなど 32, 45
もんしろちょう	モンシロチョウ 21
むぎわらとんぼ	→しおからとんぼ
やんま	クロスジギンヤンマなど 25

きのこ

きのこ	シイタケ 45
	オサムシタケ・ツチグリなど 58



植物(しょくぶつ)

あ・か

あきののげし	アキノノゲシ 32
うめ	ウメ 36, 37
おおばこ	オオバコ 33
かしのき	シラカン 11
からすうり	カラスウリなど 10, 28, 29, 37
からすのえんどう	カラスノエンドウ 21
きいちご	カジイチゴ・クサイチゴ 10, 45
くぬぎ	クヌギ 45

けやき	ケヤキ 45
こなら	コナラ 44
こぶし	コブシ 44



さ・た

さくら	コヒガン・ソメイヨシノ 21・45
しいのき	区の木 しい(スダジイ) 9
しろつめくさ	シロツメクサ 33
すすき	ススキ 32, 55
すみれ	タチツボスミレ 45, 55
たけ	モウソウチク 20
たで	イヌタデ・オオイヌタデ 32, 33
たんぽぽ	カントウタンポポ 21
つくし	スギナ(ツクシ) 21
とちのき	トチノキ 21

な・は・ま・ら

なのはな	セイヨウアブラナ 45
ねこじらし	エノコログサ 32
はぎ	区の花 はぎ(ミヤギノハギ) 9
はなだいこん	ハナダイコン 20
はなみずき	ハナミズキ 21
ひなげし	ナガミヒナゲシ 21
ほたるぶくろ	ホタルブクロ 11
水辺の草	ミクリ・カヤツリグサなど 11, 24, 25
実のなる木	コムラサキシキブ・センリョウなど 36
むくのき	ムクノキ 20
らん	マヤラン 29



## あ・か

### いきもの気象台(目黒区の事業)

- いきもの気象台  
変化する目黒区の自然の姿を区民の参加などで調べ、集計した結果を『めぐろグリーンデータブック』として、区立図書館や目黒区のホームページなどで公開しています。いきものの調査に参加している方は、「自然通信員」として登録しています
- いきもの住民会議  
自然の回復やいきものの観察方法について学習したり話し合う会議。「原っぱ」や「街の森」(→P. 18)など、いきものたちが暮らす環境の区分で開かれています
- いきもの住民台帳  
目黒区で観察された動植物のリスト。区民参加調査や自然環境基礎調査のほか、本や資料などに書かれている区内の生物の観察記録をまとめています

### 外来生物(がいらいせいぶつ)

人間によって、本来見られる地域外に持ち込まれたいきもの。外国からばかりでなく、日本の他の地域から持ち込まれたものや、靴底について種が運ばれるなど意図的でないものもあります。近年多くが見られ、地域の自然に悪影響を与えています。外来生物に対して自然分布している生物が在来生物です

## さ

### 自然環境基礎調査・みどりの実態調査

生物多様性や樹木本数・緑被率などの現状や変化を調べる調査。目黒区では定期的に行っています

### 指標種調査(しひょうしゅちょうさ)

住んでいるいきものを「ものさし」として、その地域の環境の特徴や変化をとらえる調査。ものさしになる生物を指標種(指標生物)といいます。目黒区では、観察のしやすさや、区民に親しまれているいきものを指標種としています

### 絶滅危惧種(ぜつめつきぐしゅ)

絶滅のおそれのある野生生物 →レッドリスト

### 生物季節(せいぶつきせつ)

花の開花日やセミの鳴き出し日など、季節によっておこる自然の動植物の行動や現象のこと。経年変化や気候等との関連を研究する学問を生物季節学(フェノロジー)といいます。目黒区では、ウグイスの初音、ヒキガエルの産卵などの指標種で、継続的に生物季節の調査を行っています

### 生物多様性(せいぶつたようせい)

- 生物多様性とは  
いきものたちの豊かな個性とつながりのこと。衣食住など、人間の生活は生物多様性からのめぐみで成り立っていますが、近年、自然破壊などによって、生物多様性が急速に失われてきています

- 国連地球いきもの会議(COP10 コップテン)  
2010年10月に名古屋市で開催された第10回国連生物多様性条約締約国会議。179の国が集まり生物多様性の保全や国際協力について話し合われました
- 国連生物多様性の10年  
「生物多様性はなぜ大切なのかを知り、自然とのつながりを取り戻すための10年」として行われている国際連合の活動。期間は2011年から2020年です

## は

### ビオトープ

ドイツ語を元にした合成語。「いきものの住む空間」の意味で、野生生物が共存している生態系、生息空間のこと。目黒区では、身近な生物の回復や子どもと自然の触れ合いの場として、公園や区立小学校などでビオトープ活動が行われています。水辺だけではなく、森や草原等の活動もあります



### 初音(はつね)

春になって、はじめてウグイスがさえずること。最初はへたな鳴き方をしていることが多い

## ら

### 緑被率(りよくひりつ)

樹木などのみどりでおおわれている面積の割合

### レッドリスト

絶滅のおそれのある野生生物の名前のリストで、環境省や都道府県などが自然の現状を定期的に調べ、国・自治体などの単位で作成しています。レッド(赤い色)は、『危ない』という意味で用いています。リストの中には、目黒区で観察されているものもあります。区でも、現状を調べ、生息・生育環境や生態系の保全・回復を図っていく必要があります



## 観察日記をつけましょう

もう 30 年も前に目黒区は「街の自然12か月」という自然ガイドを発行し、話題になりました。それは、そこに住む皆さんが力をあわせれば、地域の生物の姿を鮮明にすることができ、街のなかにもたくさんのいきものが住んでいることを明らかにできたからです。そして一人ひとりがいつも身近な環境の変化に注意している事がなによりも大切で、自然を知る力になるということを証明したからです。



今回、街の自然の 30 年後の姿を改めて皆さんの手で一つひとつ確認し、これを『目黒区いきもの住民台帳』として集大成することで、『街の自然の変化』が明らかになります。昔から「継続は力なり」といわれています。

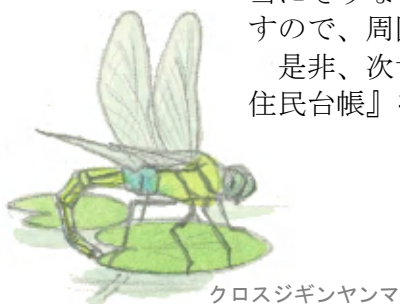
大切なのは「どこで、だれが、なにを、確認したか」という事です。たくさんの記録が集まれば、わかることも多くなって良いのですが、正確さがなければ意味がありません。お互いに観察記録をもち寄って、みんなで記録の内容を検討する話し合いをなるべく多く開いて下さい。

もし調べたことに疑問があったら友だちといっしょに確認し、それでも心配だったら先生や専門家に聞いて下さい。この台帳で最も大切なことは『確かなこと』です。正確な記録を残すためには、昆虫の場合できれば証拠になる標本も必要です。採集できないときは、写真で記録する方法になります。昆虫では、上、横、前などあらゆる方向から撮っておくといいと思います。種類によっては腹側を見ないと正しい種類の見分け(同定)ができないのです。こういう点は植物でもあると思いますので実物を専門家に見てもらおう事も考えましょう。

30 年前と最も違う点は外来生物の事です。人によってもち込まれたり、何かに付いて運ばれた生物が思いがけない所で見つかったりしています。

また、いきものが増えたり減ったりする原因のひとつを温暖化のせいにはしますが、本当にそうなのかは、どこでどういう状態で見つけられたかによってわかる場合もありますので、周囲の状況も同時に記録して下さい。

是非、次世代の子どもたちのために観察日記をつけて、すばらしい『目黒区いきもの住民台帳』をつくって下さるようお願いいたします。



矢島 稔

〈ぐんま昆虫の森園長・元目黒区街の自然 12 か月編集委員〉

---

○めぐろグリーンデータブックのダウンロード

- ・目黒区いきもの住民台帳—身近にくらすみどりのなかまたち(目黒区産動植物リスト 2009年暫定版)  
[http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa\\_hokoku/ikimono\\_daicho/index.html](http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/ikimono_daicho/index.html)
- ・めぐろいきものカレンダー—季節との出会いを楽しみましょう(2010年) 本冊子に収録  
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/johokyoku/calendar/index.html>
- ・めぐろいきもの図鑑—みんないるかな?(2011年:トンボ) いろいろな生物を紹介していく予定です  
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/zukan/ikimono/index.html>

○いきもの气象台(自然通信員になる・「身近な自然だより」のダウンロード・観察記録を送る)  
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/johokyoku/index.html>

○生物多様性について調べる(目黒区ホームページ)  
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/tayosei/index.html>

---

○気象資料提供・出典

国立天文台天文情報センター  
国立天文台編「理科年表平成22年版」,丸善(2009)  
東京都環境局環境政策部

○観察記録提供

自然通信員 いきもの气象台観測員 巣箱モニター 駒場野自然クラブ 野の花クラブ 公園活動登録団体  
花とみどりの学習館 駒場野公園自然観察舎 目黒区立小中学校 目黒寄生虫館ほか

○イラスト

水谷 高英 飯島 英明

○写真

自然通信員 駒場野自然クラブほか

○レイアウトデザイン

今井 稔 (P.17~48)

○本冊子のダウンロード

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/kishodai/index.html>

(順不同 敬称略)

---

めぐろグリーンデータブック いきもの气象台 観察ノート

2012(平成24)年3月30日印刷 2012(平成24)年5月1日発行

発行 目黒区 © 目黒区

編集 目黒区都市整備部みどりと公園課 《めぐろいきもの气象台》

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15

電話 03-5722-9355(直通) FAX 03-3792-2112

印刷 三協印刷株式会社

主要印刷物番号 23-45
------------------

※ めぐろグリーンデータブックは、区立図書館  
や区政情報コーナーで閲覧できます







区の鳥 しじゅうから

学校(または住所)	
な ま え	



ヤモリ